

# 「竹田市架け橋期のカリキュラム」の 作成について

# 架け橋期のカリキュラムの作成までに (南部幼小モデル校・園)

1. 事例をとる

2. 遊びや学びのプロセスを見取る

3. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を  
手掛かりに資質・能力等を見取る

見える化

互いの理解

4. 互いのつながりを考える

# 架け橋期のカリキュラムの作成について

(南部幼小モデル校・園中心に)

①②③④⇒竹田市で共通しておこなうもの

「竹田市架け橋期のカリキュラム開発会議 作業部会」で作成したもの

⑤⑥⑦⇒各園・小学校で作成するもの

現在していることを各園・小学校で見直し、共通理解を図りながら作成するもの

cf. 「竹田市架け橋期のカリキュラム

(南部幼小モデルプラン)」

「竹田市架け橋期のカリキュラム(作成の視点)」

|                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 期待する子ども像                      | 竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども<br>① 市町村の教育ビジョンや現在の子ども姿等から設定した「架け橋期に期待する子ども像」   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 遊びや学びのプロセス                    | 遊びや生活を通して総合的に学ぶ<br>③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、遊びのプロセスをどのように深めていくか   |  |  |  |  |  | 各教科の内容を系統的に学ぶ<br>③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、学びのプロセスをどのように深めていくか |  |  |  |  |  |
| 園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成 | <p>五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p> <p>④ ②のような姿、資質・能力を育むためには、どのような経験や体験が5歳児に必要か</p> <p>⑤ ④を踏まえ、ねらいに基づいた各園で展開される主な活動(幼小交流活動を含む)<br/>*【 】は遊び・活動例<br/>*◇遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)</p> <p>各教科等の学びへ<br/>⑤各小学校1年生の生活科を中心とした単元構成(1年生と交流する場合は幼小交流活動を含む)<br/>*【単元名】◎主たる内容・(数字)内容<br/>*☆幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」<br/>*太字の教科名=合科的・関連的指導を行う教科<br/>*「スタートカリキュラム」の位置づけ(実施時期等)</p> <p>⑥ 各園での指導上の配慮事項<br/>□環境の構成 ◇保育者の援助等<br/>*日頃の実践をもとに考える</p> <p>⑦ 家庭や地域との連携<br/>○幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」について、どのように理解を固めるか<br/>○園・小学校で共通して行うこと等<br/>○市全体で行う「体かづくりプログラム」(たけたん体操)の普及【竹田市共通】</p> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 家庭や地域との連携                     | <p>⑥ 各小学校での指導上の配慮事項<br/>□環境づくり ◇教師の指導等<br/>*日頃の実践をもとに考える</p> <p>⑦ 家庭や地域との連携<br/>○幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」について、どのように理解を固めるか<br/>○園・小学校で共通して行うこと等<br/>○市全体で行う「体かづくりプログラム」(たけたん体操)の普及【竹田市共通】</p>  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

# ① 「架け橋期に期待する子ども像」(共通)

「架け橋期に期待する子ども像」を市町村の教育ビジョンや現在の子どもの姿等から設定する

主体的に学び未来を創造する子ども ~将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する~

◎重点目標:○情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲

考えをもち表現する子

伝え合い認め合う子

探究心をもち粘り強く取り組む子

# 「架け橋期に期待する子ども像」をどのようにして設定したか

## 令和4年度竹田市学校教育ビジョン

【基本方針】主体的に学び、未来を創造する子どもの育成

【重点目標】

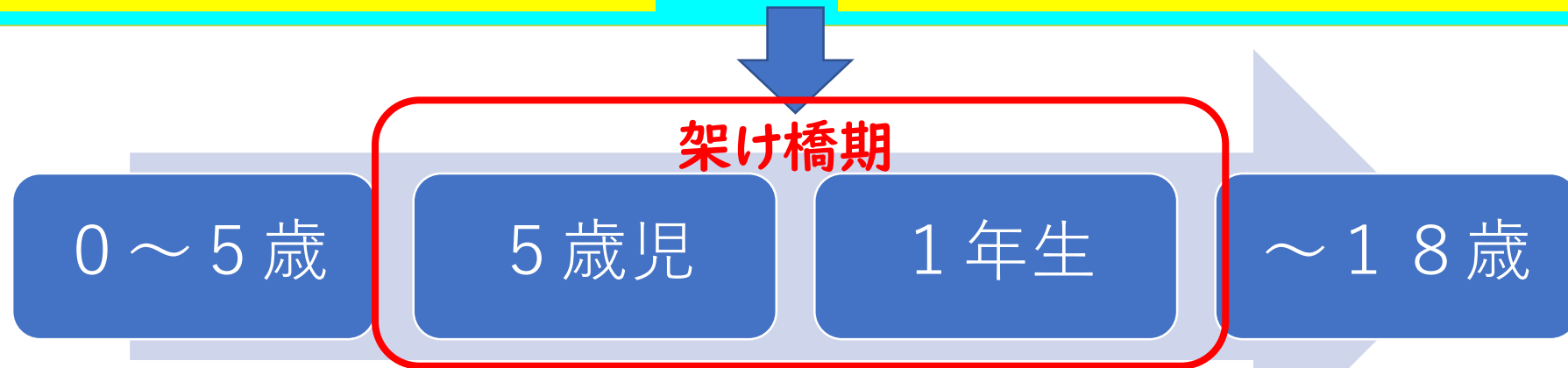
将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する

○情報活用能力

○協働的な学び

○自分の考えを形成する力

○主体的に学び続ける意欲



架け橋期に

○どのような姿を期待するのか

○どのような資質・能力を育むといいのか

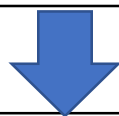
# 「架け橋期に期待する子ども像」をどのようにして設定したか

## 「幼保こ小合同研修会」(ブロック別・全教職員参加)

【目的】幼児教育と小学校教育の連携と接続・「架け橋プログラム」の理解

【内容】・小学校1年生の授業公開

・講義・演習「幼児教育と小学校教育の連携と接続の推進について  
～『架け橋プログラム』の実施に向けて～」



研修会を踏まえ、教育ビジョンや現在の子どもの姿等をもとに、「架け橋期に期待する子ども像」について、各小学校・園からアンケートをとる



教育委員会がとりまとめる



カリキュラム開発会議(架け橋協議会等)で協議・決定

## ② 「架け橋期に期待する子ども像」の 具体化（共通）

「架け橋期に期待する子ども像」に向けて、  
幼児期の終わりまでにどのような資質・能  
力を育みたいか、子どもの姿を具体化する

考えをもち  
表現する子

○ものの性質  
や仕組みなど  
を感じ取ったり  
気づいたり  
する（知・技  
の基礎）  
○豊かな言葉  
や表現を身に  
つける（知・  
技の基礎）  
○経験したこと  
や感じたこと  
、考えたこと  
などを表現  
する（思・  
判・表の基  
礎）

伝え合い  
認め合う子

○自分と異なる  
考えに気づ  
き互いの考え  
などを共有す  
る（知・技の  
基礎）  
○自ら判断し  
たり考え直し  
たりする  
（思・判・表  
の基礎）  
○友だちと考



### ③遊びや学びのプロセス（共通）

「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、  
遊びや学びのプロセスをどのように深めていくのか

遊びや生活を通して総合的に学ぶ

試した

共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう

共通の目的に向かって、工夫し合ったり認め合ったりしながら協同して遊ぶ楽しさや充実感を味わう

表現する子

○ものの性質や仕組みなどを感じ取った

人と関わる楽しさを感じ安心感をもって学習に取り組もうとする

学校生活になれ、自己を発揮しながらめあて意識を持って取り組む

各教科の内容を系統

## ④5歳児に必要な経験や体験（共通）

②のような子どもたちを育てるには、5歳児にはどのような経験や体験が必要なのか

体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど）

友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ  
（考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など）

数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる

身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど）

絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする

様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど）

## ⑤各園で展開される主な活動（各園で）

### ④を踏まえ、ねらいに基づいた各園で展開される 主な活動（幼小交流活動を含む）

\*【 】は遊び・活動例

\*◇遊びの中で期待する「幼児の終わりまでに育って  
ほしい姿」（到達目標ではない）

固定器具や運動遊具に  
興味を持ち、体を動かし  
て遊ぶ楽しさを味わう

【忍者ごっこ】  
☆健康な心と体  
☆自立心

自分なりに考えたり、気づ  
いたことを友だちと伝え合っ  
たりしながら、試行錯誤して  
遊ぶことを楽しむ

【シャボン玉遊び】  
☆思考力の芽生え  
☆言葉による伝え合い

秋の自然物を遊びに取り入れ、  
友だちと考えを出し合い、工夫  
したり、協力したりしながら遊び  
を進め、実現していく楽しさを  
味わう

【秋のお店屋さんごっこ】  
☆協同性  
☆言葉による伝え合い  
☆自然とのかかわり・生命尊  
重

共通の目的に向かって友だちと  
協力して遊びをすすめる中で、  
文字や数字に興味をもち、その  
必要性に気づき、遊びに取り入  
れて楽しむ

【お正月のあそび】  
・ゆうびんやさんごっこ  
・手作りかるた・すごろく  
等  
☆数量・図形、標識や文字  
などへの関心・感覚  
☆協同性

友だちとイメージを共有

# ⑤ 1年生の生活科を中心とした単元構成 (各小学校で)

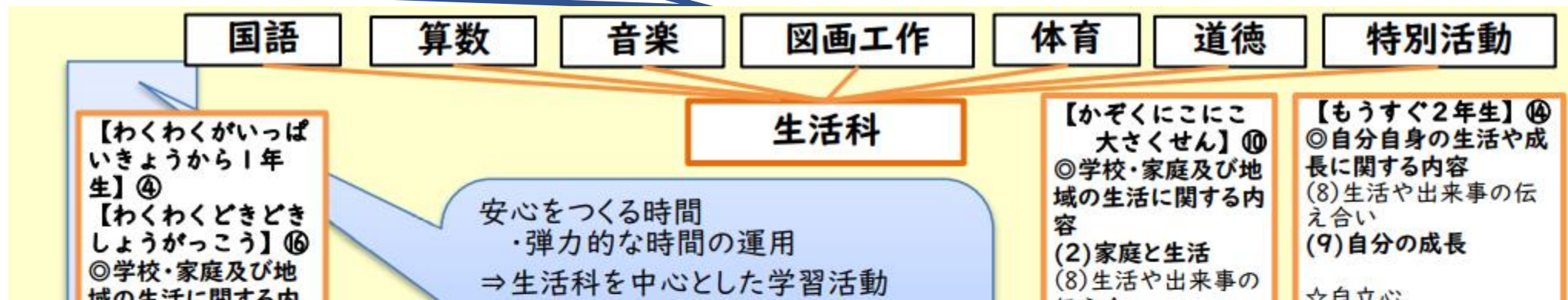
(1年生と交流する場合は幼小交流活動を含む)

\*【単元名】 ◎主たる内容・(数字)内容 ⇒ 共通

\* ☆幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

\* 太字の教科名 = 合科的・関連的指導を行う教科

\* 「スタートカリキュラム」の位置づけ(実施時期等)



## ⑥指導上の配慮事項(各園・小学校で)

○園  保育者の援助・環境の構成等

○小  教師の指導・環境づくり等

**\*日頃の実践をもとに考える**

### 各園

- 活動を展開するのにふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)
- ◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫
- ◇見通しをもったり、振り返ったりできるように場を設ける
- ◇見守る、一様に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う

### 各小学校

- 安心して学べる環境構成→・見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協
- ◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や
- ◇関わりを広げる支援→ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を
- ◇課題への出合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にした指導計画
- ◇「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想走

## ⑦家庭や地域との連携（各園・小学校で）

- 幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期のカリキュラム」について、どのように理解を図るか
- 園・小学校で共通して行うこと
- 市全体で行う「体力づくりプログラム」（たけたん体操）の普及 ⇒ 共通

幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解（保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通

竹田市こども「せいかつTOP10」（幼児版）の活用

「南小っ子 生活の約束」

体力づくりプログラム（「たけたん体操」の普及）

# 架け橋期のカリキュラムの評価・改善 (南部幼小モデル校・園にて)

## 「竹田市架け橋期のカリキュラム」(南部幼小モデルプラン)の 検証

### 南部小学校・幼稚園の公開授業・保育及び幼小合同研修会(6月・11月)

- ・「期待する子ども像」に沿った授業・保育の検証
- ・「竹田市架け橋期のカリキュラム(南部幼小モデルプラン)」改訂版の発行
- ・遊びや学びのプロセスシート発行  
(南部幼稚園・小学校の実践からプロセスと資質・能力を見取ったもの)
- ・幼小「学びのつながり」シート(南部幼稚園)発行  
⇒「学びのつながり」の見える化, 小学校・家庭・地域への理解促進へ





# 架け橋期のカリキュラムの評価・改善 (南部幼小モデル校・園にて)

## 南部幼稚園・小学校の教育課程の見直し・作成

### ○南部小学校教育課程案(1年)の見直し

- ・単元配列表(1年)の付加・修正中
- ・スタートカリキュラムの見直し(幼小で)
- ・幼小交流活動計画の頁作成

### ○南部幼稚園教育課程案の見直し

- ・項目の検討
- ・教育課程案作成中



評価・改善を継続

# 架け橋期のカリキュラムの作成に向けて (市内全校・園にて)

## ブロック別研修会の実施

### 各園・小学校の教育課程・指導計画等の作成

#### ○各小学校カリキュラムの作成中

- ・モデル案をもとに自校のカリキュラムを見直し、作成

#### ○各園カリキュラムの作成中

- ・施設長等研修会(拡大作業部会)の実施
- ・園カリキュラムの作成



- ・互いのカリキュラムの交流
- ・幼小交流活動の計画・位置づけ

等へ